



なかつぼ ひろあき

中坪 央暁 さん

認定NPO法人 難民を助ける会
[AAR Japan]

全国紙の海外特派員・東京本社編集デスクの後、国際協力機構(JICA)の派遣でアジア・アフリカの紛争復興・平和構築の現場取材。2017年AAR入職、バングラデシュ駐在としてロヒンギャ難民支援に約2年間従事。今般のウクライナ危機では首都キーウなど同国内を3度取材。著書『ロヒンギャ難民100万人の衝撃』、共著『緊急人道支援の世紀』ほか。

ロヒンギャ難民問題の今

ミャンマー国軍による武力弾圧(2017年)を逃れて、70万人超のロヒンギャ難民が隣国バングラデシュに流入して6年余り。軍事クーデターの影響もあって、本国帰還が絶望的になる中、累計100万人以上が難民キャンプ一帯に閉じ込められている。ウクライナ危機に世界の関心が集中する一方で、忘れられつつあるアジア最大級の人道問題について考える。

12月1日(金) 5限 16:00~17:30

場所:VOLAS (研究講義棟206)

東京外国語大学 学生限定
(@tufs.ac.jp のアドレスが必要)

申込締切:12月1日(金)12:00

＊当日参加もOKです!
(定員に達した場合は事前申込者を優先します)

申込みフォーム→ <https://forms.gle/khV8zCeebSXDktZW7>

お問い合わせ:ボランティア活動スペース(VOLAS) volas@tufs.ac.jp



主催 ボランティア活動スペース(VOLAS)・社会連携マネジメント・オフィス